

国際シンポジウム

有機食品市場の展開と消費者

— EUと日本の動向から —

International Symposium on Organic Consumer Research, September 9, 2015, Tokyo



有機食品市場が成長したヨーロッパ諸国では、消費者行動研究によって有機食品の購買層の特性や購買動機などがあきらかにされつつあります。本シンポジウムでは、ヨーロッパにおける消費者研究の動向と成果について基調講演をいただきます。また、あわせて日本市場の特性や需要拡大の可能性について検討するため、日本国内の研究者を交えた個別報告と、日欧両研究者によるパネル・ディスカッションを行います。

日時：2015年9月9日(水) 10:00～17:30

場所：立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館3階 多目的ホール

対象：研究者・学生・一般 ※どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料 (お申し込みは不要です。直接会場へお越しください。)

定員：100名

言語：日本語・英語(同時通訳あり)

主催：立教大学経済研究所・日本有機農業学会

協力：国際シンポジウム実行委員会

プログラム：

1. 開会 (10:00)

2. 基調講演 (10:10～12:00)

ヨーロッパにおける有機食品市場の現状と課題 ブルク・ハード・シェア氏 (ドイツ・Ecozept 共同代表者)

有機食品をめぐる消費者研究の動向 ウーリッヒ・ハム氏 (ドイツ・カッセル大学 有機農業科学部 教授)

3. 研究報告 (13:00～15:00)

「日本における有機農産物市場の変遷と消費者の位置づけ」 酒井 徹氏 (秋田県立大学 准教授)

「有機直売市の存在意義とその活用：オーガニック・マルシェの事例から」 鷹取 泰子氏 (農政調査委員会 専門調査員)

「日本とドイツにおける有機食品購買層の特性～価値観とライフスタイルを中心に～」 谷口 葉子氏 (宮城大学 助教)

4. パネルディスカッション (15:30～17:15)

コーディネーター：大山利男氏 (立教大学 経済学部 准教授)

日本で有機食品市場を発展させていくための方策について講演者と共にディスカッションを行います。

5. 閉会 (17:15)

お問い合わせ：

国際シンポジウム実行委員会

email: organicconsumers2015@gmail.com (担当：谷口)

立教大学 経済研究所

TEL: (03)-3985-4121

facebookページ：

<https://www.facebook.com/2015icoc/>

※最新情報はFacebookページにてご確認ください。



基調講演者プロフィール

ウーリッヒ・ハム (Ulrich Hamm) 氏

ドイツ・カッセル大学 有機農業科学部 教授。農産物・食品マーケティング学科長。国際有機農業学会 (ISOFAR) 理事。食品マーケティングの専門家であり、有機農産物を題材に数多くの論文を執筆・指導してきた。EU域内で実施されている様々な共同研究プロジェクトで主要な役割を果たしている。



ブルクハート・シェア (Burkhard Schaer) 氏

ドイツ・Ecozept GbR 共同代表者。農学博士。農産物・食料消費の研究者・コンサルタント。農村開発、有機食品市場、食品の地場流通等を専門とする。ミュンヘン工科大学で教鞭をとった後、2000年にコンサルティング会社Ecozept GbRを設立。業務に従事する傍ら、EU域内における数々の研究プロジェクトに参画している。



会場へのアクセス

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

JR各線・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ丸ノ内線／有楽町線／副都心線「池袋駅」下車。西口より徒歩約7分。

立教大学へのアクセス



キャンパスマップ

